

内面非球面レンズ カスタム設定

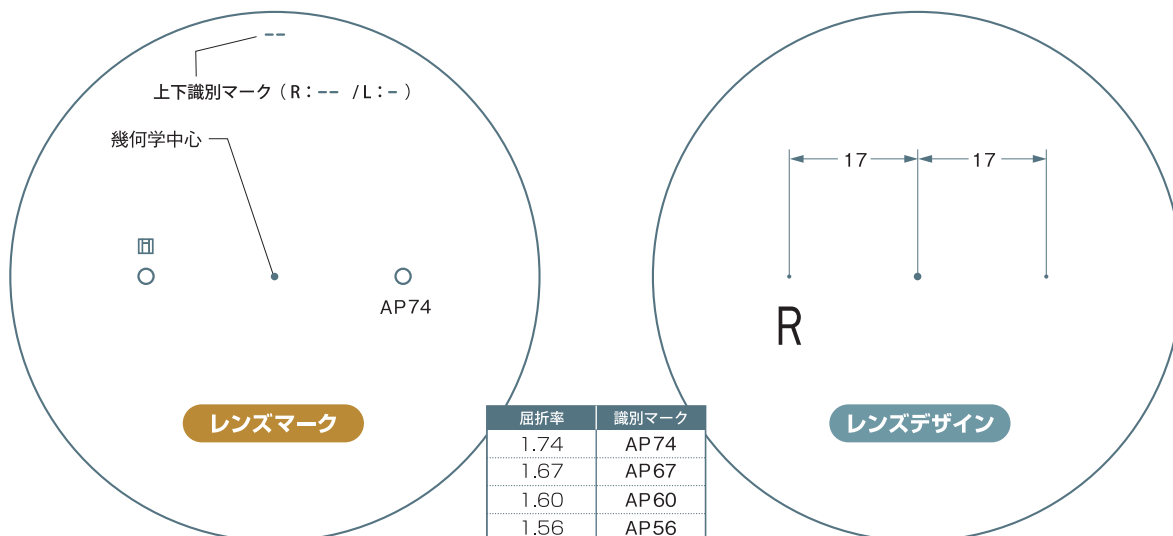
■ アクロライト (74/67/60/56) カスタム

カスタム設定可能

このマークが付いている商品

度数・フレーム形状に合わせたフリーフォーム

※ 製作範囲はベーシックと同じ



注 出来上がったレンズの度数確認を従来で行うと、補正された度数が表示されますので、レンズパッケージには注文度数と補正後の度数を併記しております。

注 印点を打つ際は、レンズの隠しマークを上記「レンズマーク」図に合わせるか、レンズメーターを0.01ステップに設定し、レンズ度数(レンズ袋に記載の補正された度数)を実測して行ってください。

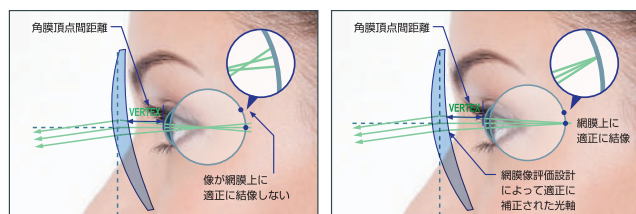
収差を最小限に抑えた高いビジュアルパフォーマンス

Point ① 各種データ入力による収差の最小化

各種データ入力により、個々の処方(度数・軸・加入・プリズムなど)だけでなく、フレームデータおよび各種パラメーター(角膜頂点間距離・PD・近用作業距離など)によって生じる収差の最小化が可能となります。

Point ② 網膜像評価設計

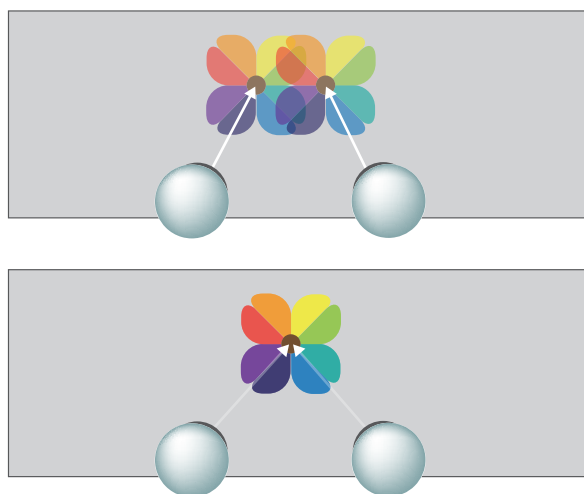
光線経路はレンズメーターの光路とは異なるため、レンズから入った光線は網膜上で正確に結像していません。



そのような現象を解消するため、予測された光軸を通った像が正確に結像するよう予め計算し、最適に補正を行います。

Point ③ 両眼視の最適化

従来の単焦点レンズとは異なり、複雑な両目の連携を考慮しています。高度な最適化アルゴリズムは、2つの目の画像の融合を支援し、結果として両眼視力が強化されることとなります。



レンズ厚の最適化

Point ① 各種データ入力によりレンズ厚を自動計算

Point ② 中心厚を薄くすることが可能

各種データ入力により、最適な偏心、最適な中心厚を自動計算します。
玉型データに応じたアイポイントの内寄せにより、丸生地が必要な外径より、小さな外径でレンズを仕上げるができるため自動的に中心厚は薄くなります(プラス・MIXに有効)。

内面非球面レンズ カスタム設定 数値入力

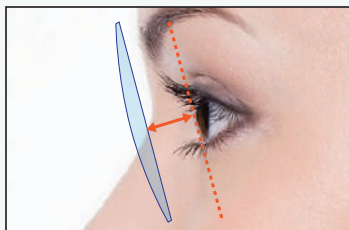
■ アクロライト カスタム 各種パラメーター / ポイント設定

カスタム設定可能

このマークが付いている商品

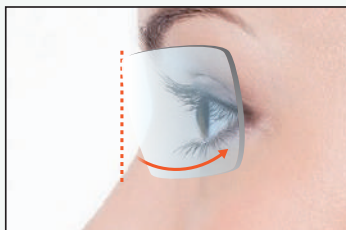
カスタマイズ パラメーター

■ 角膜頂点間距離



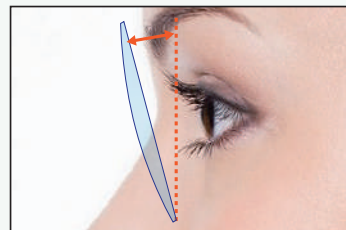
規定値 12 mm

■ そり角



規定値 5° ※ そり角設定(最大値 12°)により自動プリズム補正を行います。

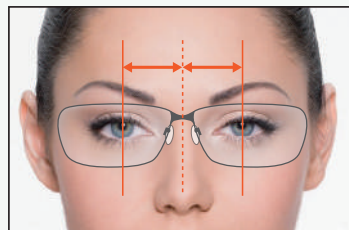
■ 前傾角



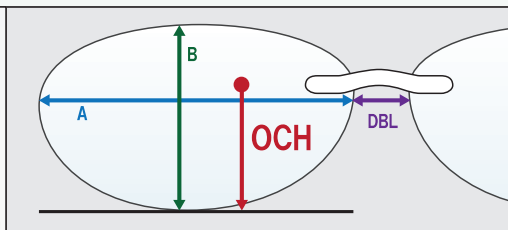
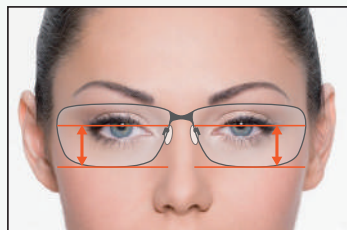
規定値 8°

カスタマイズ ポイント

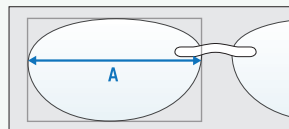
■ 瞳孔間距離 (PD)



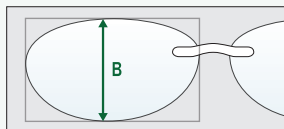
■ フィッティングハイト (OCH) アイポイントからリム形状最下端までの距離



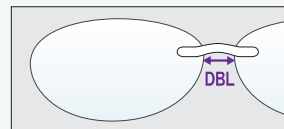
■ フレームデータ



A サイズ



B サイズ



DBL

☐ 玉型データ ※ 全て右側のレンズを表記しています

□ フレーム種類

セル
メタル
溝掘り
穴あけ



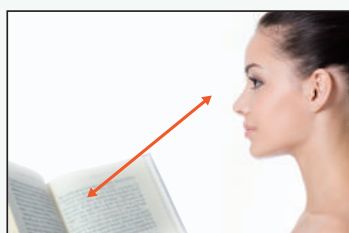
■ FD (アイポイントからリム形状の一番遠い部分までの距離)

※ 上記「玉型データ」選択での製造時に、外径不足を生じさせないための数値となります。

■ 近用作業距離

注 3

近用作業距離は、老眼鏡としてご利用の場合のみご指定下さい。



注 1 指定がない場合は全て規定値で製作します。

注 2 外径指定を行なった場合、全ての項目が入力できなくなります。これは外径データを最優先とするため、フレームデータなどの数値が反映できなくなるためです。この場合、カスタマイズパラメーターおよび近用作業距離は全て規定値設定となります。

注 4 出来上がったレンズの度数確認を従来で行うと、補正された度数が表示されますので、レンズパッケージには注文度数と補正後の度数を併記しております。